

(学校運営協議会・報告様式)

令和5年度 第6回 鼓ヶ浦小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和6年 2月15日(木) 15:45～17:00

2 場 所 高学年図書室

3 あいさつ(学校長, 委員長)

4 協議内容

(1) 令和5年度「学校評価」について

<学校から>

- ・子どもたちが主体的に学ぶことができるように、ペア・グループ活動を取り入れたり、教員の発問や手立てを工夫したりしていく。
- ・本校は学習ボランティアを日常的にしてもらっている。子どもたちの基礎学力定着に力添えをいただいている。
- ・ICT機器を低学年では写真により記録、高学年では行事等の調べ学習や学んだことをまとめ発表するための資料作成に使用している。
- ・ICTも活用しながら、「書く」活動も平行して行う。
- ・ICTの効果的な使用方法について教員も研修を続けていく。
- ・クロムブックの使い方やルールについては適宜子どもたちに指導している。学校と家庭と連携して、ルール等を確認していきたい。
- ・本校は地域の方に朝の見守りから学習支援、環境整備の面で多大なるお力添えをいただいている。コロナ禍もあけ、今後よりいっそう関わりが増えると思われるが、関わっていただくことが当たり前になってしまっていて、礼儀の面で十分でないという課題がある。
- ・集会等で前に立つ児童が頑張っている姿を見ても、その頑張りに応えることができない児童がいる。集会や行事ではめあてを持ち取り組み、終わった後には振り返りを行うとともに、互いの良さを認め合う活動を取り入れていきたい。
- ・海が近いので防災対策に力をいれていきたい。来年度は年度の早いうちに稲生小までの訓練を行いたい。

<質疑・感想>

- ・先日の公民館での文化祭には全児童の作品が展示されていた。6年生の作品は将来の自分を紙粘土に表したもので、キャリア教育につながっていると感じた。4年生の作品は命の授業からの延長としての工作が出品されていた。その場にいた子どもが作品について生き生きと話す姿があった。

- ・まちづくり協議会としても児童や学校と関わり、協力していきたいと思っている。実際の課題に対する取組として、PTAにも参加していただきたい。
- ・現在外国籍の児童が増えてきている。地域としても外国籍の児童とご飯を食べて遊んだりできる機会を公民館で持つ等、コミュニケーションをもてる場をつくりたいと思っている。
- ・砂の造形活動が来年度からなくなるということだが、異年齢が関わるよい行事だと感じた。異年齢が関わる活動を続けていって欲しい。

(2) 令和5年度学校運営協議会の任期終了のお礼と来年度の意思確認

5 情報交換会

<PTA より>

- ・4月からメンバーが変わるが、今年度のメンバーも終わったから関わらないというのではなく、OGとして関わっていきたいと考えている。

<公民館より>

- ・2月10日、11日に文化祭を行った。10日は200名、11日は120名と例年より多くの来館者があった。

<守る会より>

- ・横断幕を新しくした。古いものも再利用している。

<おじさんセミナーより>

- ・来年度も鼓・夢工房を続けていきたいと考えている。

<まちづくり協議会より>

- ・PTA,守る会と顔合わせができる場を設け、地域とのコミュニケーションを大切にして課題について取り組んでいきたい。

<教育支援課>

- ・学校自己評価はPDCAによるものであり、ここでの話し合いが今後につながる。活発な意見交流をしていただいたことで学校にとっても実り多い時間となった。